

# 代表質問

2月定例市議会では、七会派の代表が、議案や市政全般についての質問を行いました。会派別にくっつかを取り上げて、要旨を掲載します。

## 新風会

### 今後の財政運営方針

**問** 長期的な少子化がもたらす社会経済情勢に耐え得る、持続可能な本市財政の運営方針は。

**答** 平成15年度当初予算では、税収入が、骨格予算でありながら財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況にまで落ち込んでいる。今後、経常的経費等の見直しに加え、受益者負担の適正化、行政執行体制の効率化等の抜本的見直しを行い、デフレ経済下でも耐え得る財政構造に改善していくことが急務と考えている。

### 地産地消の推進に向けて

**問** 安心して安全な食品を確保するため、地産地消の推進を。

**答** 平成13年度は、テンペ（大豆の加工食品）生産施設への支援を、14年度は、学校給食

等への食材供給のためのピニールハウス導入を進めている。また、「JA女性部では、「はなやかシヨップ」で地元農産物を直売して好評を得ている。今後も関係機関と連携しながら、地産地消を推進したい。

### 総合的な学習の時間で農業体験を推進

**問** 農業への理解を深めるため、学校での総合的な学習の時間に農業体験学習の推進を。

**答** 田植え等の体験を通して田の生き物や農業生産、土づくり等について学び、社会科や家庭科と関連させて稲の活用や伝統文化等を学習することが重要と考える。今後も、農家の支援のもと、生育や収穫の喜び、苦勞を体験できる学習を進めたい。

### 楽しく分かる授業で基礎学力向上へ

**問** 学校完全週五日制による授業時間の減少で基礎学力低下が懸念されるが、今後の対策は。

**答** 漢字や計算の反復学習により定着を図るとともに、楽しく分かる授業を通して子どもたちの意欲を喚起し、自信をはぐくむことに重点を置いている。朝の学習や読書の推進、少人数指導に加え、教師の授業改革への意



体験を通じ農業の大切さを(馬屋下小学校)

識高揚に向けた研修の拡充等に取り組んでいる。

### 合併・政令市問題

情報提供し活発な議論を

**問** 合併・政令市移行問題で、市民に十分な情報提供を行い、積極的な議論を誘導すべきでは。

**答** 五千人を対象とした住民意向調査では、有効回答のうち八九・一％が、「オープンな場ですっきりと検討した方がよい」と回答しており、次の段階への市民的準備ができたものと認識している。平成17年3月の合併特例法の期限を念頭に、法定合併協議会の設置に向け、関係市町と調整を図っていきたい。

## 政隆会

### バリアフリーの

### まちづくりに向けて

**問** 平成14年度に施行された岡山市くらしやすい福祉のまちづくり条例の 取り組み状況は今後の方針は。

**答** 周知を図るためパンフレットを各種会議等で配布するとともに、バリアフリー化推進に向けて、障害者等の生の声を聴くため、設計支援委員会で審議を重ねてきた 15年度の早期

に市の取り組みを公表し、条例の一層の浸透を図りながら、民間の優れた取り組み事例を表彰し、紹介していきたい。

### 軽四公用車

### リース化の効果は

**問** 平成14年12月から実施された軽四公用車のリース化による稼働率の変化は、コスト削減見込みは、期待される効果は。

**答** 平均稼働率が四一・五％から五七・一％、特に共用車は六七・三％に向上した。従来方式と比較して十年間で約三億円の削減が見込まれる。使用車両の分析等による一層のコスト削減や、職員の事務負担の軽減、予算の平準化等が期待できる。

### 健康市民おかやま<sup>21</sup>

### 地域と連携して推進

**問** 平成15年度以降十年間の市民の健康づくりの指針となる「健康市民おかやま<sup>21</sup>」の推進体制は。

**答** 健康に関する地域・職域・学校などの各分野の団体等が、相互支援を行うための情報交換や調整・連絡等ができる場として、「健康市民おかやま<sup>21</sup>推進会議(仮称)」を設置するとともに、各保健センターを中心とした地域の各関係機関と連携できる体制をつくっていきたい。